シリーズ　ひろがるワーカーズ 第１回

私らしく働く・助けあって働く・地域を豊かにする働き方

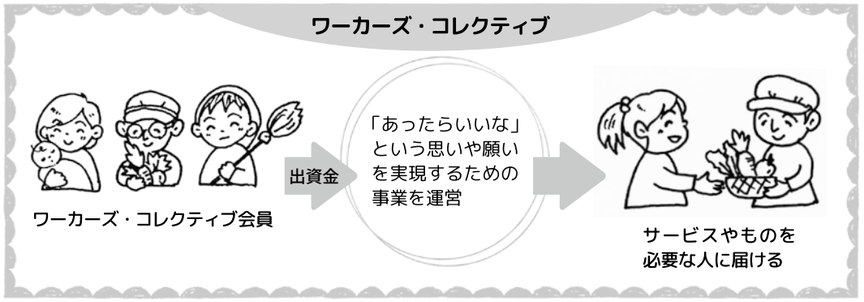
ワーカーズ・コレクティブってなあに？

ワーカーズ・コレクティブという働き方が誕生して 40 年、地域の課題を協同の働き方で解決してきました。事業をする上での法人格はNPO法人や企業組合を取得していましたが、2022 年に労働者協同組合法が施行され協同労働が社会化されました。
新シリーズでは『ひろがるワーカーズ』と題し、第１回は特徴と魅力を取り上げます。

ワーカーズ・コレクティブとは　～３つの特徴～

1. ワーカーズ・コレクティブは協同労働

ワーカーズ・コレクティブの原則は、協同組合の原則と一致します。会員は出資し、運営と労働に参加することができます。また、ひとつの目的（地域の課題）のために力を合わせて（協同労働）解決します。事業は非営利とします。

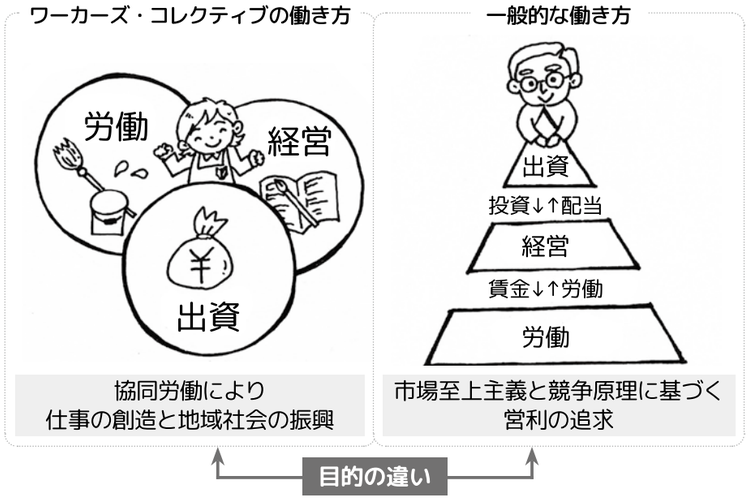


2. 働くことで社会を変える

地域課題を事業の形で解決することが目的のワーカーズ・コレクティブ。多様なニーズに応じた事業が地域に増えることで、暮らしやすい地域をつくり、働く場の創出にもつながります。この働き方は、労働の中に社会性があり、社会を変える力を持っています。

3. 主体的に働き、人間的で質の高い労働を提供

会員は主体的に事業に参加し、組織は民主的に運営され、経営責任も応分に負います。また、一人ひとりの状況や能力に合わせた働き方を尊重し、相互扶助の関係性を大切にします。
働くことと生き方が一致したワーカーズ・コレクティブの労働は、やりがいを実感できる持続可能な働き方です。



「あったらいいな」から始まった事業

現役ワーカーに聞きました　ワーカーズ その魅力とは？！

ワーカーズ歴 15 年
谷山 真佐枝さん
ワーカーズ･コレクティブ プランズ EPO
（業種：編集･企画）

ワーカーズの魅力

利益追求を目的としていないので、メンバーには自然と助け合う雰囲気があり、未経験者でも伸びていくことができる。事業の方法や工夫などの提案に対し、皆で検討し、さらに良いアイデアに変化していくのが楽しい。

やりがい

サービスを受け取った地域の人から感謝の言葉をいただくと、世の中の役に立っていることを実感し、やりがいを感じる。

達成できたこと

受託事業が中心だったが、高齢社会に向けて自主事業として地域サロン情報誌の発行を開始した。ワーカーズ･コレクティブが社会で一定の信頼を得ていたので、当初から取材･配架先など、外部にも協力を得られやすかった。現在まで助成金を活用しながら年２回 各 4,000 部を中央図書館や市民活動スペース等で無料配布している。

自分自身の変化

会の運営に携わることで、全体の仕事の調整をしたり、地域の会議に出席したりし、色々な人とコミュニケーションを取ることに慣れて、以前よりも自分の意見を伝えられるようになった。入会前はフリーライター。様々な仕事に携わるうちに、編集ソフトでのレイアウトをはじめ、動画撮影･編集など、スキルが増えた。

ワーカーズ歴 28 年
設立時の代表
佐藤 泰子さん
子育て支援ワーカーズ ぐるんぱ
（業種：一時預かり保育、親子ひろば他）

ワーカーズの魅力

なんといっても自分たちの仕事を自分たちで作り上げることができるところ。事業方針から分配額まで、全員で関われるところが最大の魅力。

やりがい

時間がかかっても自分たちの納得がいくまで話し合い、責任をも引き受けていく潔さがやりがいに通じている。

達成できたこと

自主事業の親子ひろばが行政委託となり、保育と合わせて事業の二本柱の１つになったこと。ルームフリマや文庫の充実などを実現できた。また、親子で楽しめる音楽ライブができたことも大きな達成感を得られた。継続的に助成金で支援してくださる企業と協力者には本当に感謝している。

自分自身の変化

家族（特に夫）に協力を求めつつ、自分ひとりで背負わずにお互いに家事などの分担をできるようになった。ワーカーズという働き方を続けるうえで、大切な核になっている。必要な時に力を発揮できるようにするために、無理をせずバランスをとれるようになったと思う。